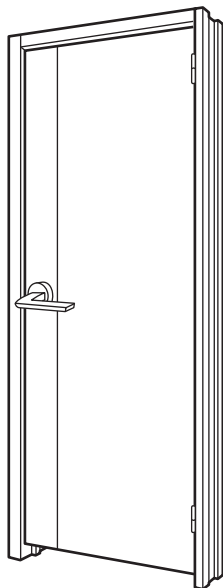
施工後、必ずお施主様にお渡しください。

施工説明書
取扱説明書

ダイケン INOMA-V リビングドア
片開き・トイレ
（見切枠）

この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

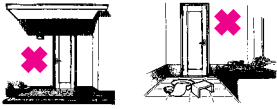
大建工業株式会社

IV-KA-090301

必ずお守りいただきたいこと

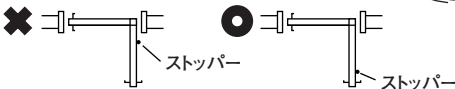
⚠ 施工上注意

ダイケンリビングドアを長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

●このドアは一般住宅用の室内用ドアです。
他の用途へのご使用はおやめください。

●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。
———扉が閉まらない原因となります。

●沓摺、敷居をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、沓摺、敷居と床面の間に必ず防水処理をしてください。

●扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。
———傷をつけるおそれがあります。

●風の強い地域や、吹き抜け、高層階でガラスドアを取り付ける場合、ドアストッパーをご使用ください。
———強くドアが閉まると衝撃でガラスが割れるおそれがあります。
———ドアストッパーを取り付ける場合、ドア先端部に取り付けてください。

●工事が完成するまでの間、扉は壁にたてかけて保管しないでください。

●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。
———熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

お手入れの方法

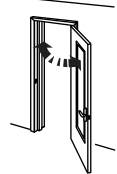
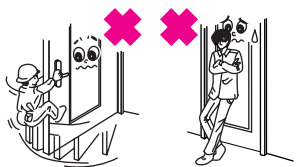
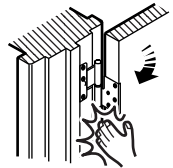
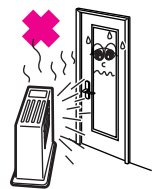
●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

●合成皮革部の通常の清掃は、乾拭き、又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶の変化や変色が生じます。

●汚れの除去やつや出しには、市販の合成皮革用よごれ落とし、つや出し剤をご使用ください。（目立たない部分で試し塗りをしてからご使用願います。）

⚠ 使用上注意

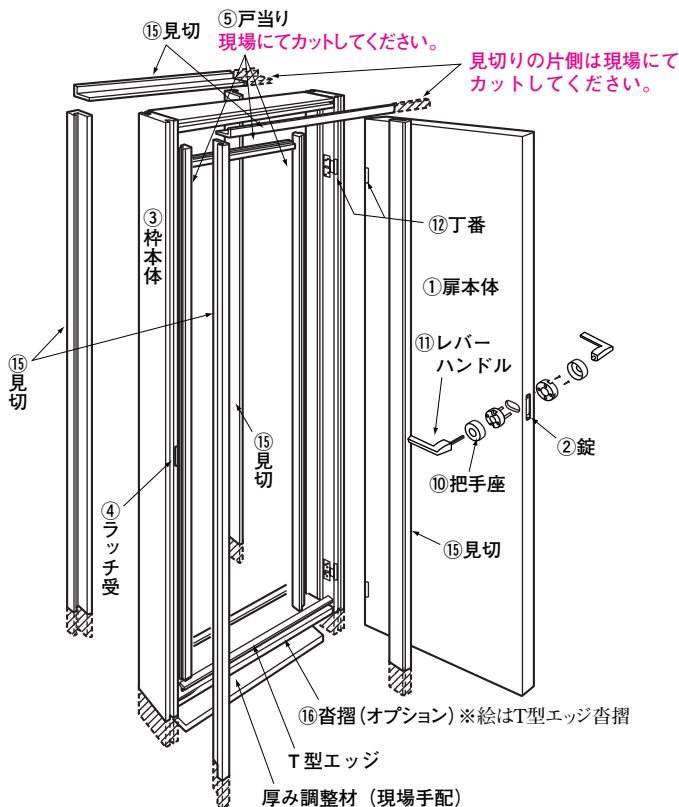
本製品を安全に、また末永くご愛用していただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

●扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。

●扉の把手にぶら下ったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。

●扉に指をはさまないよう把手を持って正しく操作してください。特に小さなお子様には十分ご注意ください。

●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

●ガラスに強い衝撃を与えたり物をぶつけたりしないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。

合成皮革デザイン扉を使用上のご注意

●合成皮革は性質上、傷やめくれに対して補修ができません。施工時や使用時の取り扱いにご注意ください。

全 体 図

〈見切枠〉

		部　品　名　称	数量	備　　　考
扉セット	①	扉本体	1	
	②	錠	1	扉本体に取付済

			部　品　名　称	数量	備　　　考
枠セット	③	枠本体		1	3方枠（縦枠2　上枠1）
	④	ラッチ受		1	枠本体に取付済
	⑤	戸当り		縦用 2 横用 1	縦用　クッション有：1本 クッション無：1本 横用　クッション無：1本
	⑥	金具セット	枠組立ビス	4	ϕ 4.2×50
	⑦	金具セット	枠調整ビス ※薄壁枠には同梱されていません	10	ϕ 5.3×55
	⑧	金具セット	戸当り用接着剤	1	
	⑨	施工説明書・取扱説明書		1	必ずお施主様にお渡しください

		部　品　名　称	数量	備　　　考
把手セット	⑩	把手座	1	
	⑪	レバーハンドル	1	

		部　品　名　称	数量	備　　　考
丁番セット	⑫	丁番	2	上用下用（8尺のみ中用）各1set
	⑬	丁番取付ビス（扉側用）	8	ϕ 3.8×24
	⑭	丁番取付ネジ（枠側用）	8	M5×22

		部　品　名　称	数量	備　　　考
見切セット	⑮	見切	縦用 4 横用 2	＊壁厚に合わせてサイズをお選びください。

〈オプション〉

			部　品　名　称	数量	備　　　考
沓摺セット	⑯	沓摺	標準沓摺		
			本　　体	1	
			T型エッジ沓摺		
			本　　体	1	
			T型エッジ	2	
			接　着　剤	1	＊T型エッジ取付用

必要梱包

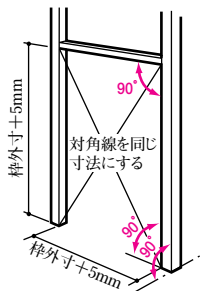
見切枠 ⇨ 扉セット＋枠セット＋把手セット＋丁番セット＋見切セット

※沓摺を使われる場合は別途、沓摺セットが必要です。

準 備

◆開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。

※扉が換気経路になる場合は高さの寸法が変わります。
詳細は図面を参照してください。

⚠ 注意
柱の垂直・床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

※柱、床、まぐさの水平、垂直がでていないと下図の原因となります。

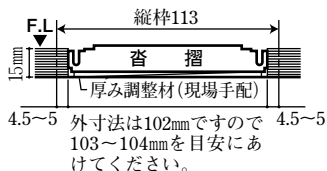
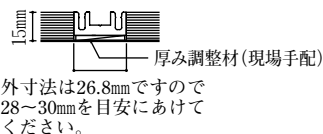
梱包を開けて部品を確認してください。

フロアーを先に貼り、T型エッジ沓摺（オプション）を使われる場合は下図を参照してください。

⚠ クッションフロア（CF）などのクッション性のあるフロアを使用される場合はT型エッジ沓摺を使用しないでください。

外寸法は102㎜ですので103〜104㎜を目安にあけてください。

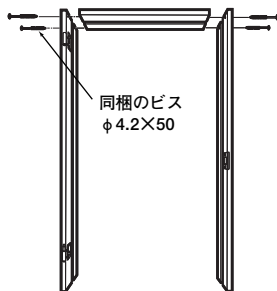
床見切を使われる場合

外寸法は26.8㎜ですので28〜30㎜を目安にあけてください。

施工の前に

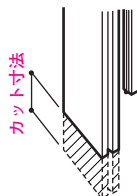
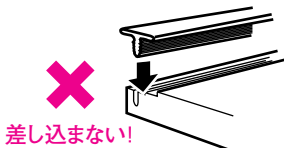
枠を組み立ててください。

※同梱のビスを使用してください。

見切枠の場合

縦枠と上枠にずれがないことを確認してください。

枠を床下に埋めこまない場合は枠下端をカットしてください。

カット寸法

〈2000高〉沓摺を使用しない場合
・扉が換気経路になる場合 ⇨ 9mm
・扉が換気経路にならない場合 ⇨ 12mm

T型エッジ沓摺の場合

※T型エッジを差し込まないでください。
（施工後に差し込みます）

施工手順

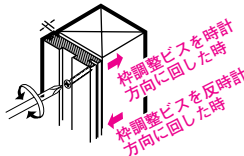
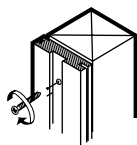
1　開口部への枠の取付

①枠を開口部にはめこんで丁番側の枠の上側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

②下げ振りを使って垂直をだしてから、丁番側の枠の下側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

③水準器で上枠の水平を見ながらラッチ側の枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

④下げ振りを使って垂直をだしてから、ラッチ側の枠の下側を枠調整ビスで仮固定してください。

⑤枠の左右調整は次の様に行ってください。

(1) まず枠調整ビスで枠を固定します。

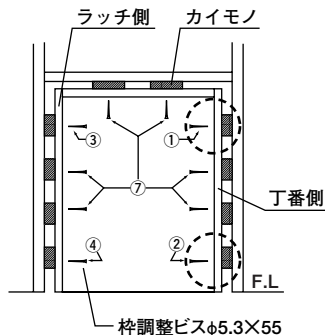
(2) 枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

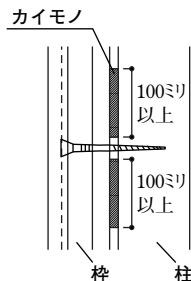
⚠ **注意** 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーを使用すると、ビス頭がつぶれ調整ができなくなります。

⚠ **注意** 調整丁番は施工後の経時変化のための微調整ですので枠の調整はしっかり行ってください。

⑥調整後、枠調整ビスの上下に木工ボンド（現場手配）を塗ったカイモノ（幅＝柱幅程度 × 高さ＝100ミリ以上）を入れてください。

⚠ **注意** カイモノを入れないと、枠がぐらつき、丁番が破損したり、壁と枠の間にスキマが発生する恐れがあります。

⑦枠の前後、左右のたわみがない様に調整後カイモノをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。

①②③④部分のカイモノは下図のようにビスの上下に入れてください。

⚠ 必ずカイモノに木工ボンド（現場手配）を塗ってください。

⚠ **注意**

枠の水平・垂直を必ず確認してから取り付けてください。扉が閉まらない原因となります。

2　扉の吊り込み

①扉に扉側丁番を同梱のビス（φ3.8×24）で、枠に枠側丁番を同梱のネジ（M5×22）で取り付けてください。

⚠7尺高は2枚吊・8尺高は3枚吊

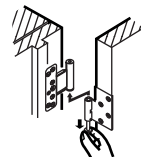
②扉を枠に吊り込んでください。

扉は左右兼用になっていますので右吊・左吊に注意して扉側丁番を取り付けてください。

⚠ 7尺高の場合、中丁番はありません。

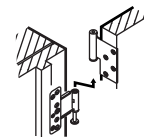
①次に、枠側丁番（下）の軸に扉側丁番（下）をのせてください。

②扉側丁番（上）のつまみを下げて枠側丁番につけてください。

※中丁番同士が当たって扉が吊り込めない場合は、中丁番の上下調整ビスを反時計回りに回してください。

③枠側丁番（中）に扉側丁番（中）を合わせ、つまみを戻してください。

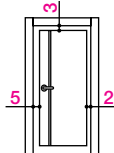
⚠ 注意

丁番の上用・中用・下用を間違えないようご注意ください。

※扉側丁番の中用と下用は同じものです。

⚠ 注意

全てのネジを取り付けた後再度増し締めをしてください。

⚠ 注意

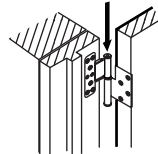
扉と枠の隙間が右記の寸法になっているか確認し、大きく違う場合は枠の建てつけ調整を再度行ってください。

④中・下丁番の軸が見えないように、中丁番・下丁番の上下調整を行ってください。

この向きに回すと扉が上に上がります。

この向きに回すと扉が下に下がります。

注）上下調整は中丁番、下丁番のみです。

⑤枠側丁番上のキャップを下げてください。

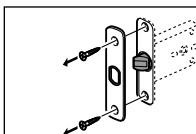
キャップ下げる。

3　レバーの取り付け

把手座とレバーハンドルを取り付けてください。

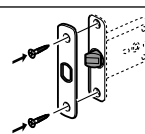
取付方法は把手セットに同梱の取付説明書をご覧ください。

4　吊元の決定

左吊元扉の場合は右の通りラッチの先端の向きを反転させてください。
（※扉は出荷時は右吊元になっています。）

⚠ ラッチカバーには上下があります。

①ビスをはずしてラッチカバーをはずします。

⚠ ご注意
ラッチ本体は反転させないでください。

②ラッチ先端部だけを反転させます。

③ラッチカバーをビスで取付けます。

5　戸当りの取付

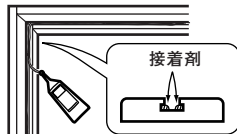
戸当りを枠のサイズに合わせてカットしドア枠に接着してください。
（必ず接着剤を使用してください。）

※クッション付はラッチ側枠に取り付けてください。
※クッションをドア側に向けて取り付けてください。

※戸当りは長めになっていますので縦勝ち、横勝ちのいずれにでも施工できます。

縦勝ち　横勝ち

⚠ 注意 接着剤がまんべんなくゆきわたるように下図のように塗布してください。
接着剤の量が少ないと扉の開閉時に戸当りがはずれるおそれがあります。

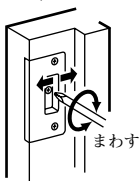
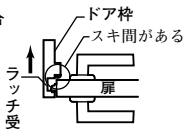
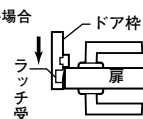
※枠溝に縦2本接着剤を塗布してください。

6　丁番の調整

次ページに記載しています。必ず調整を行ってください。

7　ラッチ受けの調整

扉がガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーで調整ラッチ受座を調整してください。

調整ラッチ受座の操作方法

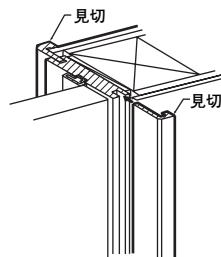
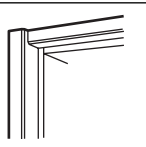
（調整可能範囲 5 mm）

8　見切の取付

見切枠の場合

壁の施工が終了してから、見切を取付けてください。

⚠ 見切に木工ボンド（現場手配）を塗布してください。その際、ラッチ受座位置の部分には塗布しないでください。

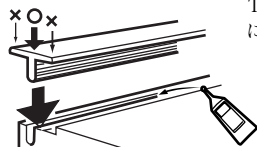
※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。

縦勝ちの納めになっています。

9　T型エッジの取付

T型エッジ沓摺の場合

T型エッジをツバ受けに差し込んでください。

T型エッジは長めで同梱されていますので枠内寸法にカットして使用してください。

※接着剤をツバ受け溝に点付けしてください。

※T型エッジのまん中を押してはめこんでください。
※T型エッジを差し込む場合は床面との隙間が出ない様に施工してください。
隙間がある場合、T型エッジが割れる場合があります。

10　養 生

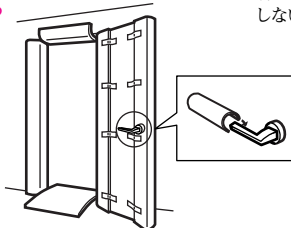
工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを沓擦に直貼り使用すると、塗装が剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。
金具は布・ミラーマットなどで養生してください。

※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

ご注意

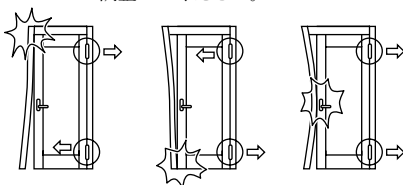
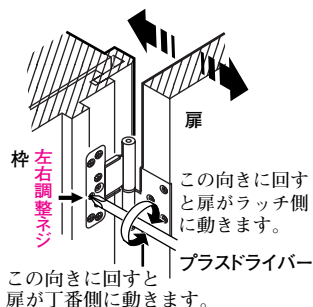
合成皮革デザイン扉を使用上のご注意

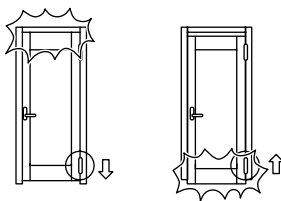
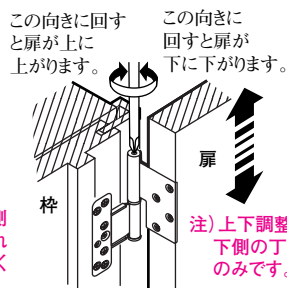
- 合成皮革は性質上、傷やめくれに対して補修ができません。施工時や使用時の取り扱いにご注意ください。

お部屋のクリーニングを行う時は、扉の全面を段ボールやビニール等でおおい、洗剤等が表面に付着しない様ご注意ください。

6 丁番の調整

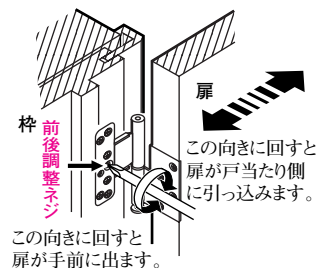
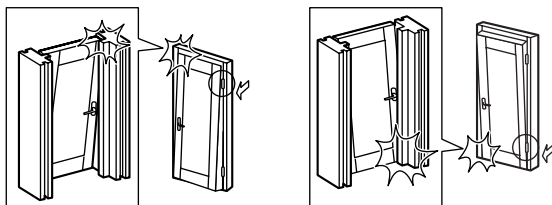
扉を開閉して、扉があたる場合は、調整丁番にて扉の傾きを調整してください。

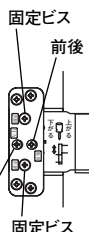
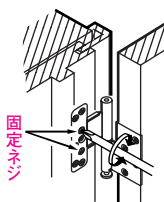
左右方向の調整
（調整可能範囲 5 mm）

扉を開閉して、枠とあたる部分が下図の位置の場合、〇印のついた丁番を矢印：⇨ の方向に調整してください。

＊扉が自動的に開閉してしまう時は、扉が枠にあたらない範囲で以下の調整を行ってください。
・扉が閉まってくる場合…上丁番にて扉を丁番側に寄せてください。
・扉が開いてくる場合……上丁番にて扉をラッチ側に寄せてください。

上下方向の調整
（調整可能範囲 6 mm）

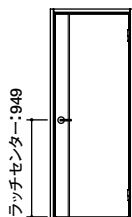
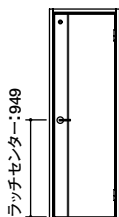
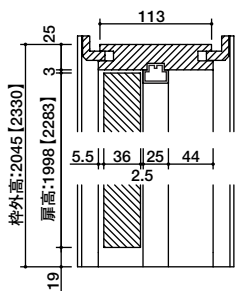
扉を開閉して、枠とあたる部分が下図の位置の場合、〇印のついた丁番を矢印：⇨ の方向に調整してください。

⚠ 調整後、上丁番枠側キャップを軸がかくれる位置に移動してください。

注）上下調整は下側の丁番のみです。

前後方向の調整
（調整可能範囲 3 mm）

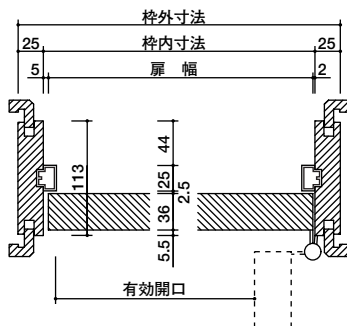
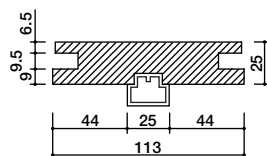
扉を開閉して、枠とあたる部分が下図の位置の場合、〇印のついた丁番を矢印：⇨ の方向に調整してください。

手順

固定ビス ゆるめる
⇩
調整ビス で調整
⇩
開閉して隙間等確認
⇩
固定ビス **しめる**

⚠ 注意
固定ネジは確実に締めつけてください。締めつけがゆるいと使用中に固定ネジがゆるみ丁番が破損したり扉が脱落する恐れがあります。

⚠ 注意
丁番の調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

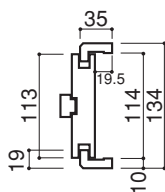
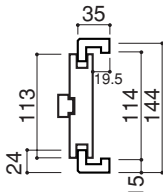
見切枠タイプ寸法図

片開き・トイレドア寸法図

枠外寸法	875	780	755	735	650
枠内寸法	825	730	705	685	600
扉　　幅	818	723	698	678	593
有効開口	750	655	630	610	525

縦枠・上枠断面図

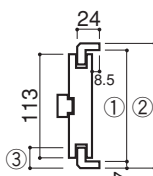
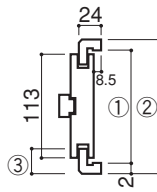
【　】は2300高タイプの場合

見切枠壁厚対応

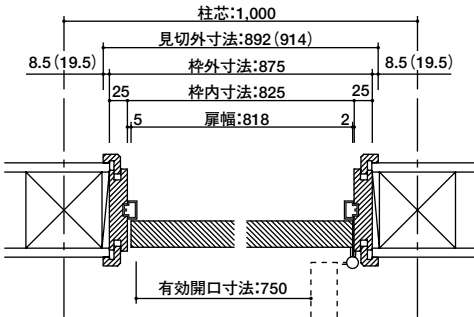
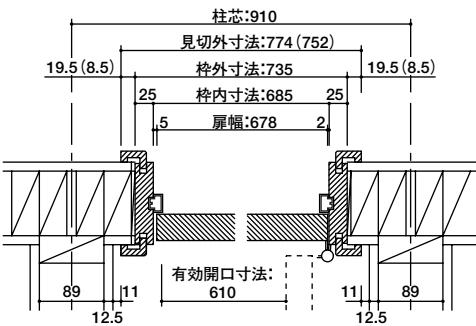
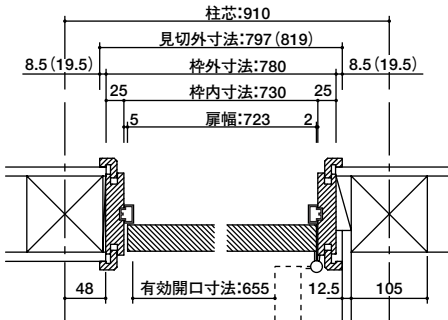
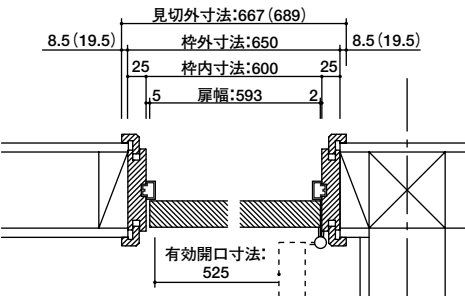
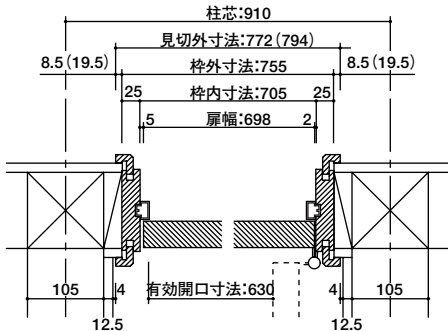
見切A（シンプル）壁厚114mm

横　用

縦　用

見切B～E（シンプル）壁厚114mm～185mm

横　用

縦　用

24
8.5
113
①
②
③
12

見　切		B	C	D	E
①壁厚		114～131	131～149	149～167	167～185
②枠外寸	横用	128～145	145～163	163～181	181～199
	縦用	138～155	155～173	173～191	191～209
③見切サイズ	横用	22	31	40	49
	縦用	27	36	45	54

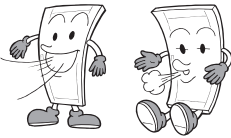
片開き・トイレドアのモジュール納まり
875幅 メーターモジュール対応
図は見切B～E使用の場合
( )は見切Aの場合
柱芯:1,000
見切外寸法:892(914)
8.5(19.5)
枠外寸法:875
8.5(19.5)
25
枠内寸法:825
25
5
扉幅:818
2
有効開口寸法:750
735幅 2'×4'両入隅対応
図は見切A使用の場合
( )は見切B～Eの場合
柱芯:910
見切外寸法:774(752)
19.5(8.5)
枠外寸法:735
19.5(8.5)
25
枠内寸法:685
25
5
扉幅:678
2
有効開口寸法:
610
89
11
12.5
11
89
12.5
780幅 片入隅対応
図は見切B～E使用の場合
( )は見切Aの場合
柱芯:910
見切外寸法:797(819)
8.5(19.5)
枠外寸法:780
8.5(19.5)
25
枠内寸法:730
25
5
扉幅:723
2
48
有効開口寸法:655
12.5
105
トイレ650幅
図は見切B～E使用の場合
( )は見切Aの場合
見切外寸法:667(689)
8.5(19.5)
枠外寸法:650
8.5(19.5)
25
枠内寸法:600
25
5
扉幅:593
2
有効開口寸法:
525
755幅 両入隅対応
図は見切B～E使用の場合
( )は見切Aの場合
柱芯:910
見切外寸法:772(794)
8.5(19.5)
枠外寸法:755
8.5(19.5)
25
枠内寸法:705
25
5
扉幅:698
2
105
4
有効開口寸法:630
4
105
12.5
12.5

※枠は床に上のせにて施工してください。

片開き･トイレドア　縦断面図

【　】は2300高タイプの場合
図は見切B～E、フロア12㎜を使用の場合。(　)は見切Aを使用の場合。

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は内装ドア周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

リビングドア

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について　●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様センター
0120-787-505
（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは
TEL 0570-064-876へお電話ください。
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンホーム&サービス株式会社
06-4257-3121

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。
http://www.daiken.jp/service/

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶
▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い
大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。） 尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

営業所	電話
北海道営業部	
札幌営業所	☎（011）207-5330
札幌特販営業所	☎（011）207-5330
旭川営業所	☎（0166）24-1377
函館事務所	☎（0138）47-7191
帯広事務所	☎（0155）25-8421
東北営業部	
盛岡営業所	☎（019）636-1161
仙台営業所	☎（022）243-6621
東北特販営業所	☎（022）243-6621
青森営業所	☎（017）735-8811
郡山営業所	☎（024）946-7211
秋田事務所	☎（018）862-4441
山形事務所	☎（023）632-2711
関東営業部	
埼玉営業所	☎（048）669-0660
宇都宮営業所	☎（028）621-6431
群馬営業所	☎（027）321-5511
新潟営業所	☎（025）285-5887
長野営業所	☎（026）222-6311
長岡営業所	☎（0258）33-5734
熊谷事務所	☎（048）527-5601
松本事務所	☎（0263）40-0370
首都圏営業部	
東京営業所	☎（03）6271-7731
横浜営業所	☎（045）222-4781
千葉営業所	☎（043）287-8491
多摩営業所	☎（042）571-3434
水戸営業所	☎（029）248-8511
静岡営業所	☎（054）288-3881
浜松営業所	☎（053）458-5751
山梨事務所	☎（055）275-7931
我孫子事務所	☎（04）7183-4070
相模原事務所	☎（042）770-9130
中京営業部	
名古屋営業所	☎（052）205-5811
名古屋特販営業所	☎（052）205-5811
三重営業所	☎（059）226-7073
岐阜事務所	☎（058）246-6752
三河事務所	☎（0564）65-8681
北陸営業部	
金沢営業所	☎（076）262-3211
北陸特販営業所	☎（076）262-3211
富山事務所	☎（076）429-7250
福井事務所	☎（0776）26-8508
近畿営業部	
大阪営業所	☎（06）6452-6200
大阪特販営業所	☎（06）6452-6220
リモデル営業所	☎（06）6452-6171
京都営業所	☎（075）341-8151
兵庫営業所	☎（078）321-1822
沖縄営業所	☎（098）879-4916
和歌山事務所	☎（073）473-8090
中国営業部	
広島営業所	☎（082）505-2525
広島特販営業所	☎（082）505-2525
岡山営業所	☎（086）262-2271
岡山特販営業所	☎（086）262-2271
山口事務所	☎（083）974-0303
福山駐在	☎（084）924-7196
四国営業部	
高松営業所	☎（087）866-6260
高松特販営業所	☎（087）866-6260
松山営業所	☎（089）934-7585
徳島営業所	☎（088）624-4210
高知駐在	☎（088）885-6202
九州営業部	
福岡営業所	☎（092）413-2345
福岡特販営業所	☎（092）413-2345
熊本営業所	☎（096）372-5211
南九州特販営業所	☎（096）372-5211
鹿児島営業所	☎（099）254-8300
北九州事務所	☎（093）522-1224
長崎事務所	☎（0957）35-0161
大分事務所	☎（097）533-8701
宮崎駐在	☎（0985）26-5908
東部住宅営業部	☎（03）6271-7721
集合住宅営業部	☎（03）6271-7751
工事建材課	☎（03）6271-7766
リモデル営業部	☎（03）6271-7761
リテール営業部	☎（03）6271-7755
西部住宅営業部	☎（06）6452-6232
集合住宅営業1･2課	☎（06）6452-6243
工事建材課	☎（06）6452-6245
住機製品事業部 営業課	☎（0763）82-5882

大建工業株式会社　DAIKENのホームページアドレス　http://www.daiken.jp/

2010.10 現在